行政評価シート(事後評価)

コード (88) 8-2-3	事務事業名 花いっぱい運動の推進	所管部課 生活環境部みどり公園課(旧都市整備部公園緑地課)
-------------------	---------------------	----------------------------------

事務事業の概要	事務事業の目的		根拠法令等
	公園などの公共用地に設けた花壇のデザインや植え付け、管理等を市民と協働で行う「花いっぱい運動」を推進し、市民の緑化への関心を高めるとともに、潤いのある豊かなまちづくりの実現を図る。		☐ 法律 ☐ 条例・規則 ☐ 政令・省令 ☒ 要綱・要領
	事業内容・実施方法等 / 補助の概要: 補助団体の概要(団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要(国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額)等		
	原則として市民5人以上の団体が実施する「花いっぱい運動」の活動に対し、花の植え付けに必要な花苗・資材等の支給を行う。(現状は、NPO団体の西東京市花の会が主体となって、種から栽培し、花の植え付けを実施している。) 本事業は、活動内容が認められ(財)自治総合センターが行っている「緑化推進コミュニティ助成」の対象事業となっている。		
事業開始時期	合併前から	実施形態	☐ 直営 ☐ 委託 ☐ 補助 ☒ その他 (花苗・資材等の支給)

事業費データ	項目	単位	16年度	17年度	18年度	19年度
	事業費(A)			8,233	6,418	5,933
財源	国庫支出金・都支出金	千円				
	地方債					
	内 其他 (コミュニティ助成金)		2,000	2,000	2,000	2,000
財源	一般財源		6,233	4,418	3,933	3,988
	所要人員(B)	人	0.70	0.70	0.70	0.70
	人件費(C)=平均給与×(B)	千円	5,830	5,730	5,713	5,713
	臨時職員等賃金(C')	千円				
	総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円	14,063	12,148	11,646	11,701
	単位当たりコスト (E)=(D)/(活動箇所数)	千円	343	276	265	

評価指標の設定	活動等指標		単位	16年度	17年度	18年度	19年度
	支給品購入金額	実績値	千円	5,568	5,009	5,059	
	実績値						
(指標の説明・数値変化の理由 など) 市が活動団体に支給した花苗・資材等の購入金額							
評価指標の設定	成果指標		単位	16年度	17年度	18年度	19年度
	一次 活動箇所数	目標値	箇所			46	46
実績値		箇所	41	44	44		
二次 市民意識の向上	目標値						
	実績値						
(指標の説明・数値変化の理由 など) 「花いっぱい運動」の活動対象となっている花壇数(一次)							

事業環境等	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	現在、活動を行っているボランティア団体「NPO法人・西東京花の会」より、事業の委託化に関する検討要望が出されている。	
	都内26市のサービス水準との比較 (平均値、本市の順位など)	☐ 上 ☒ 中 ☐ 下	実施方法等に相違(委託、自治会実施、現物支給、シルバー委託等)はあるが、都内26市のうち10市で同様の事業を行っている。
	代替・類似サービスの有無	☐ 有 ☒ 無	

コード (88) 8-2-3	事務事業名 花いっぱい運動の推進	所管部課 生活環境部みどり公園課(旧都市整備部公園緑地課)
-------------------	---------------------	----------------------------------

【一次評価】

検証項目	ランク		一次評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
事業の優先度(緊急性)	2		☐ 拡充 ☒ 継続実施 ☐ 改善・見直し ☐ 抜本的見直し ☐ 休止 ☐ 廃止	<p>事業実績、緑化推進及び市民意識の高揚面から見て継続実施が必要である。活動団体の協力により平成15年度から取り組んでいる育苗ハウスを活用しての花苗の育成システム(種やプラグ苗から苗を育てる。)をより一層充実させ、効率的な事業運営を図りたい。</p>
事業の必要性	2			
事業主体の妥当性	3			
直接のサービスの相手方	2			
事業内容等の適切さ	2			
受益者負担の適切さ	3			
市民ニーズの把握	1			

【二次評価】

検証項目	ランク		二次評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
事業の優先度(緊急性)	1		☐ 拡充 ☐ 継続実施 ☒ 改善・見直し ☐ 抜本的見直し ☐ 休止 ☐ 廃止	<p>事業の優先度は低いが、緑化推進や市民との協働などの面で事業効果は期待できる。これまでも、活動団体の協力による育苗ハウスを活用した花苗の育成システムなど、効率的な事業運営に努めている。今後、民間やNPO等への委託化なども検討し、事業の推進に努めていく必要がある。</p>
事業の必要性	2			
事業主体の妥当性	1			
直接のサービスの相手方	3			
事業内容等の適切さ	2			
受益者負担の適切さ	3			
市民ニーズの把握	1			

【行革本部評価】

行革本部評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
☐ 拡充 ☐ 継続実施 ☒ 改善・見直し ☐ 抜本的見直し ☐ 休止 ☐ 廃止	<p>本事業は、市民やNPO団体の協力により効果的に事業が展開され、一定の成果が見られる。今後は、より発展的に事業展開がなされるよう、事業委託などの他の実施方法についても費用対効果を踏まえて検討されたい。</p>